3R　　Anyty™

3R-HSAP800WIFI

Wifi転送機能の手引き（iOS搭載製品）

この手引きでは3R-HSAP800WIFIとiOS搭載製品を使って
スキャンしたデータを閲覧する手順をご紹介しています。
操作画面などはiPad Wifi 16GB,iOS5.1.1を例にしています。

※本書内で使用している商品名等は各社の商標および登録商標です。

● 使用前のご注意事項

＊ 本製品のWIFI機能の使用にあたっては、iOS機器のネットワーク設定の変更が必要になります。WIFI機能使用後にインターネットに接続するには以前のネットワーク設定を再度設定する必要があります。

＊ Wifi機能使用中は他の無線ネットワークやモバイルデータ通信（3G）は使用出来ないためインターネットに接続することは出来ません。

＊ 企業内、教育施設内などで提供されているiOS機器の場合設定がお客様自身で変更できない場合や、変更後に問題が起きる可能性があります。WIFI機能使用の際はネットワーク管理者にご相談下さい。

＊ 使用している環境、ブラウザなどによっては記載している画面表記と内容が異なることがございます。

＊ WIFI機能は設定後、ブラウザ経由でアクセスを行います。デフォルトのブラウザ（safari）以外をご利用の場合は設定方法や操作手順が異なります。

＊ WIFI機能経由でiOS機器側にデータの保存が可能なのはJPEG画像形式のみになります。PDF形式で保存したデータは閲覧はできますがiOS機器側へ保存することは出来ません。

＊ WIFI機能は通常のスキャンのみと比較して乾電池の電力を多く消費します。未使用の乾電池1セットあたり平均使用時間は35分です 。使用しないときは電源/スキャンボタンを長押しの上オフにすることをお勧めいたします。

＊ その他無線に関する注意事項等は別途付属のお取扱説明書内「電波に関する注意事項」も合わせてご覧下さい。

①　スキャナ側の準備をする

まずスキャナ本体のみを使用して転送したい原稿のスキャンを行い、スキャナ側にスキャンデータを保存してください。

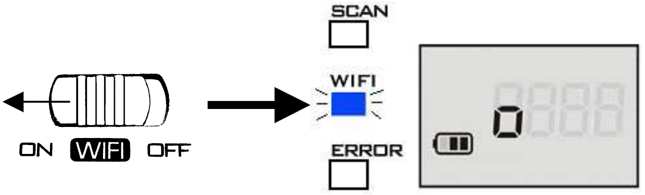
→お取扱説明書内、「5 スキャナを使う（スキャンモード）」をご覧下さい

スキャンデータの準備が出来たら以下を参考にスキャナ本体をWIFIモードで起動してください。

※取扱説明書より

6.1　WIFIモードで起動する

まず本製品をWIFIモードで起動します。スキャナ側面のWIFIスイッチを「ON」にして電源/スキャンボタンを2秒ほど長押しします。WIFIモードの起動が始まります。



起動中は右側の図のように液晶画面に「o」の表示が点滅しています。
WIFI機能が使用できるようになるまでおよそ30秒かかります。
WIFILEDが点滅を始めるまでしばらくお待ち下さい。

② ネットワーク設定

2.1. ネットワーク設定画面の呼び出し

スキャナ側の準備が出来たら次はiOS機器側でネットワークの設定を行います。メインの画面内の「設定」をタップします。

2.2. Wifi機能を有効にする

iOS機器のwifi機能が有効でない場合は「設定」内の「wifi」を「オン」にしてください

※ 3Gなどモバイルデータ通信が有効な端末の場合は「一般」内の「ネットワーク」でモバイルデータ通信を一時的に無効にして下さい。

2.3 スキャナ（アクセスポイント）を検索する

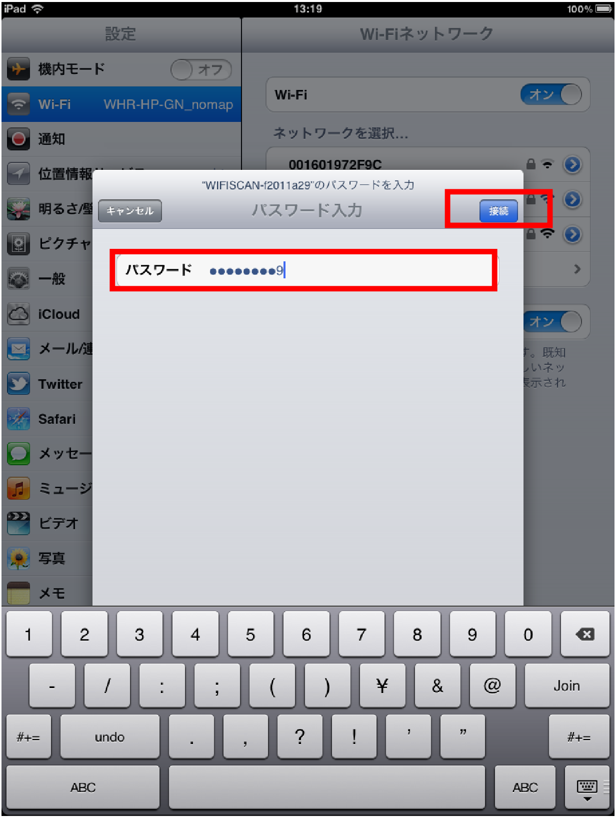
wifiをオンにすると自動的にアクセスポイントの検索を行います。またすでに有効であった場合にも一覧が表示されているので以下の項目を一覧から確認して該当項目をタップして下さい。

「WIFISCAN」

※チェックマークが付いている項目は今接続しているアクセスポイントです。Wifi機能使用後に再度接続する必要があるため、今接続しているアクセスポイントの名前や設定等を控えることをお勧めします。

2.4 パスワードを入力する

スキャナへ接続するためのパスワードを入力します。
デフォルト設定は「123456789」です。
入力したら「接続」をタップします。



2.5　接続の確認

接続をタップしたらスキャナは認証を行い問題がなければiOS搭載機器が接続されます。2.3で確認した項目の右側にチェックマークがあること、画面左上にwifi接続を示すアイコンがあることを確認してください。

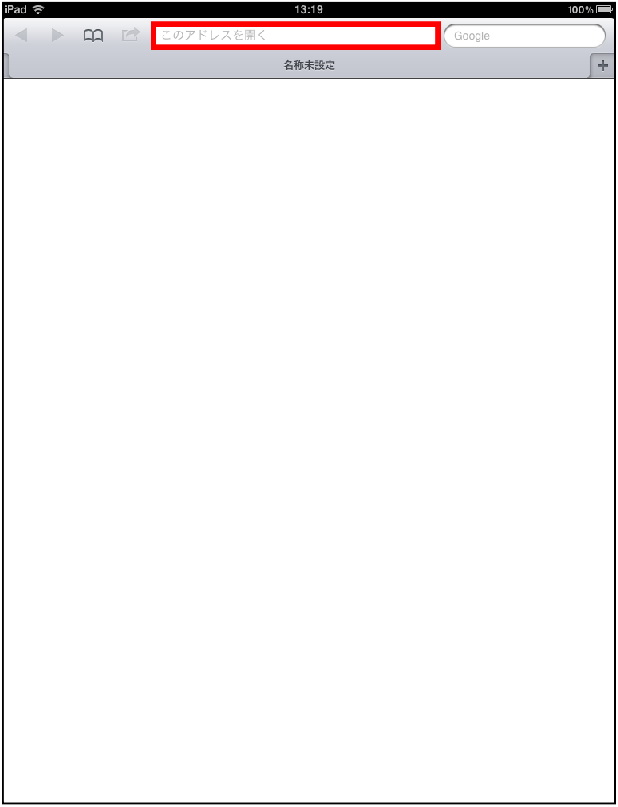
③　wifi機能でアクセスする

3.1.　ブラウザ（Safari）を起動する

ネットワーク設定が完了したらメインの画面に戻ります。メインの画面からSafariをタップして起動してください。

3.2.　URL欄をタップ

ブラウザを起動したら画面上部のURLの入力欄をタップし、文字入力が出来る状態にします。



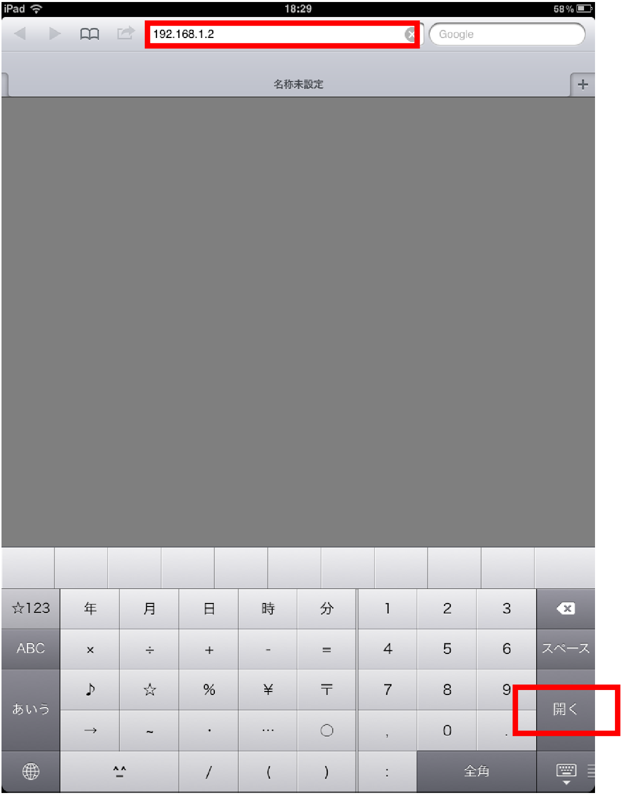
3.3.　URLを入力

続けて以下のURLを入力して開く(エンター)を押してください。

192.168.1.2

または

http://192.168.1.2/



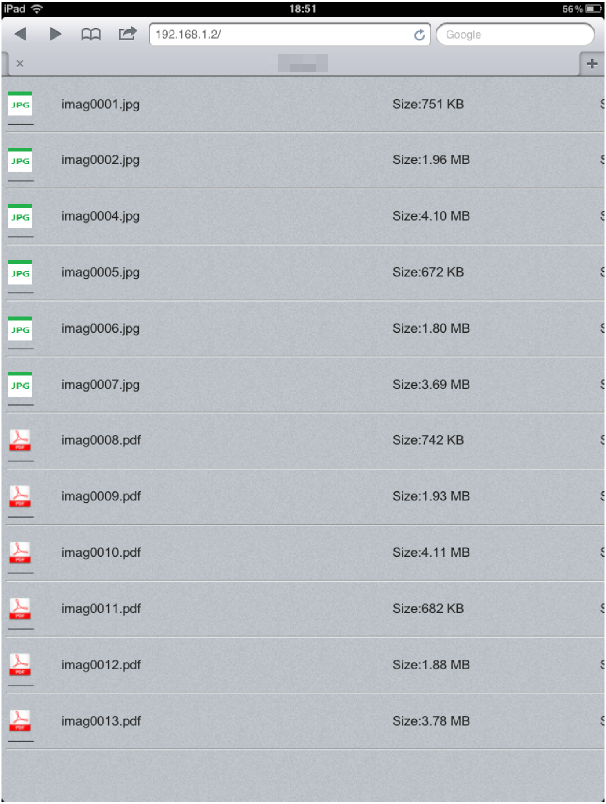
3.4. トップページの表示

以下のような画面が表示されたらスキャナへの接続が正しく出来ました。「DCIM」フォルダをタップします。続けて表示された「100MEDIA」フォルダもタップして下さい。

3.5. 一覧の表示

100MEDIAフォルダをタップするとスキャンデータが以下のような一覧でで表示されています。各データの右側の「Download」または「View」をタップすると表示されます。。

※保存ファイル数が多い場合は複数ページで表示されます。



3.5. JPEG画像の表示

画像のサムネイルをタップするとSafari内でスキャン画像が表示されます。表示の拡大縮小も可能です。表示されている画像部分を長押しすると保存することも可能です。一覧画面に戻るには戻るアイコンを押してください。

3.6. PDFデータの表示

PDFのアイコンをタップするとSafari内でPDFが表示されます。
PDFは閲覧のみで保存はブラウザ経由からは行えません。一覧画面に戻るには戻るアイコンを押してください。

3.7. 保存した画像の表示

「3.5 JPEG画像の表示」で保存した画像はiOS機器側のアプリで閲覧が可能です。メインの画面から「写真」をタップします。

サムネイルで保存画像が表示されますのでこれをタップします。

画面にブラウザで保存したスキャンデータが表示されます。

④　ネットワーク設定を戻す

4.1.　ネットワーク設定画面の呼び出し

WIFI機能を終了する際はネットワーク設定を元に戻す必要があります。メインの画面内の「設定」をタップします。

4.2　ネットワーク設定を元に戻す

●WIFIスキャナをオフにする

WIFIスキャナの電源ボタンを約2秒長押しするか、WIFIスイッチを「OFF」の位置に動かしてください。WIFIモードがオフになり、WIFIスキャナのアクセルポイントも無効になります。

●アクセスポイントの復元

スキャナのWIFI機能が無効になった時点で以前接続されていたアクセスポイントの設定が残っている場合。自動的に以前のアクセスポイントに再接続します。自動で再接続がされない場合は「2.3 スキャナ（アクセスポイント）を検索する」で控えておいたアクセスポイント名を確認します。同じ名称の項目をタップして再度接続を行ってください。接続後、画面左上にWIFI接続を示すアイコンがあることを確認します。

●モバイルデータ通信（3G）の有効化

「2.2. Wifi機能を有効にする」で3Gなどのモバイルデータ通信を無効にしていた場合は「一般」内の「ネットワーク」でモバイルデータ通信を再度有効にしてください。

⑤　Q&A

Q.　iOS搭載機器側からWIFIスキャナのアクセスポイントが見つからない
A1　WIFIスキャナはWIFIモードで起動していますか？WIFIスイッチが「ON」側であることを確認してください。
A2　WIFIモードは起動が完了していますか？WIFIモードは起動までに45秒ほど必要です。スキャナの青いWIFIランプが点滅状態であればWIFIモードの起動は完了しています。
A3　iOS機器側のWIFI機能は有効になっていますか？また機内モードなど無線を無効にする機能などが働いていませんか？

Q.　パスワード入力後、再度入力を求められてしまう
A1　対応している暗号化はWPA/WPA2 PSKです。WPA2で正常にアクセス出来ない場合はWPAでお試し下さい。
A2　文字入力は半角英数字になっていますか？半角で「123456789」を入力してください。

Q.　アクセスポイントの接続は出来るが、アドレスを入力しても接続できない
A.1　乾電池は消耗していませんか？電池マークが少なくなると電源オンの状態でも正常に動作しないことがあります。
A2　WIFI以外でモバイルデータ通信やVPNなどのインターネット、ネットワーク接続が有効になっていませんか？ネットワーク設定を確認してください
A3　アンテナの強度は十分にありますか？最大送受信範囲は5Mです。